

研究課題名 クロウン病に対する腹腔鏡手術の検討 に関する情報公開

1. 研究の対象

2003年1月1日～2019年12月31日までに当科でクローン病に対して手術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

クローン病（以下CD）は若年発症の多い難治性炎症性腸疾患であり、患者数はこの10年で約2倍に増加し本邦では4万人を超えたと推定されています。栄養療法や薬物療法などの内科的治療が優先されますが、出血、穿孔、狭窄、膿瘍、癌合併例など外科的治療が必要になる症例もみられます。CDに対する腹腔鏡手術は、非穿孔型の回盲部限局型病変に対する初回手術が良い適応であると本邦のガイドラインに記載されていますが、当科では瘻孔・膿瘍形成などの複雑型、再手術症例に対しても腹腔鏡手術を導入しています。CDに対する腹腔鏡手術の有用性および安全性を検討することを目的に、CDに対して腹腔鏡手術が施行された患者を対象に、手術適応、術式、術後合併症を含めた長期経過について後方視的に検討します。研究期間は、実施承認日～2023年12月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、病理所見、手術記録等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 助教 服部 憲史

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 講師 中山 吾郎